



豊かな教育と文化が輝く泉大津をめざして
～「学び」でつなぐ教育コミュニティ～

泉大津市 教育振興基本計画 を策定します。

「教育振興基本計画」とは？

本市の第4次泉大津市総合計画では「つながりある学びと育ちを大切にするまち」「すべての世代が学びあい育ちあえるまち」などの目標を掲げています。

その実現に向けて就学前教育の充実、未来を拓く学校教育や豊かな生涯学習などをめざして独自計画を策定するものです。



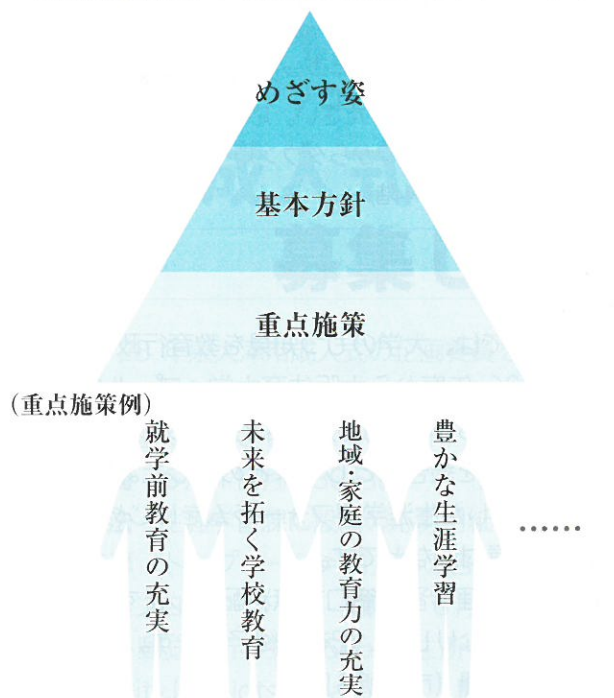
●**策定の方針**
本市教育委員会では、多様な変化の激しい社会にあつて、自分の夢や目標の実現に向け生き抜く力を育むとともに、就学前を含む学校・家庭・地域が手を携え、学びでつなぐ教育コミュニティをめざす指針として「教育振興基本計画」を策定します。

この計画では、教育の中長期的な目標や基本的な方向性を明らかにし、今後の数年間において重点的に取り組む施策を示します。

●**市民の皆さんのご意見・ご提案をお聞かせください。**
策定過程において、多くの皆さんのご意見をお伺いしたいと考えています。ご協力をお願いします。

- ▽市民アンケートの実施（6月実施予定）
無作為に抽出した20歳以上の市民2000人を対象に、教育や生涯学習に関わる意識を調査します。
- ▽児童生徒・保護者を対象とした学校教育等に関するアンケートの実施（6月実施予定）
いくつかの学校・学級の児童生徒や保護者の皆さん、また幼稚園・保育所・認定こども園の保護者の皆さんを対象に意識調査を実施します。
- ▽市民ワークショップの開催（8月開催予定）
各中学校区でワークショップを開催し、市民の皆さんにお集まりいただき、直接、さまざまなご意見をお伺いします。
- ▽市民意見公募（パブリックコメント）の実施
（平成28年1月実施予定）
教育振興基本計画（素案）をホームページなどを通じて市民の皆さんに公表し、皆さんから

教育振興基本計画の構図（イメージ）



みんなで
重点施策を
つくりあげて
いくんだね～

出された意見を検討し、反映します。

●**策定に関する会議等**
▽教職員意識調査と意見交換会
小中学校、幼稚園、保育所認定こども園の教職員などを対象に、学校教育に関する意識調査を実施します。また、若手の学校教職員などによる意見交換会を開催し、学校教育について議論します。

▽**策定委員会**
学識経験者や学校教育関係者、市民代表者からなる策定委員会を開催し、基本方針や施策などについてご意見を伺います。

●**策定経過の公表**
教育振興基本計画の策定経過は、市のホームページや広報紙を通じて公表していきます。

問合 教育総務課（市役所3階）

安心な出産・子育てをサポートする 市立病院の周産期センター

本市では、「誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり」の一環として、地域ぐるみで子育てを支援する環境が整い、子育てに関する喜びが共有され、子どもを産み・育てたいと思えるまちを目指しています。

市立病院の地域周産期母子医療センター（周産期センター）は、産婦人科・小児科・NICUを備え、妊娠から出産、子どもの成長までトータルにサポート。平成21年には泉州二次医療圏で3か所しかない、周産期に必要な高度な医療を行う施設のひとつとして認定されました。

周産期センターでは、休日夜間の診察・分娩にも対応し、分娩時の新生児内科医師立ち会いやその後の新生児治療も可能であることから、より安心して出産・子育てができる体制が整っています。

問合 市立病院総務課（☎32・5622）

周産期センターの主な特長



市内唯一の
分娩施設



本市の出生半数
以上が当院で



2人目以降出産
5万円割引

産婦人科 妊産婦の救急に24時間対応しています。

産婦人科では、妊娠初期から細やかな診療体制を取り、医師と助産師が連携し、妊娠・出産・産後の生活を安全・安心に過ごせるよう支援しています。また、産婦人科診療相互援助システム（OGCS＝大阪府内の産科救急・母体搬送を円滑に行うための連絡調整システム）に加入し、母体搬送を含む早産やハイリスク妊婦にも対応しています。

また、自然な状態での分娩を可能な限り目指しています。ご希望に応じて、立会分娩や無痛分娩も可能です。赤ちゃんとお母さんの肌が直接触れ合う早期母子接触も行っています。さらに、妊娠中や入院中はもちろん、退院後も母乳相談・育児相談を実施し、産前産後の生活を助産師がサポートします。

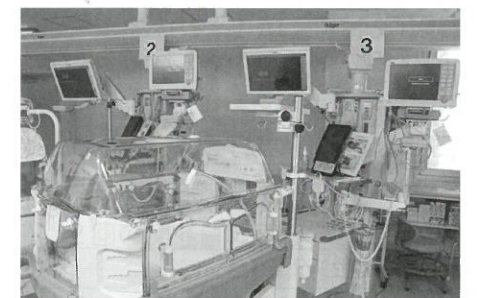


産婦人科外来窓口

新生児内科 新生児集中治療室（NICU）を備え、365日24時間新生児の緊急入院に対応しています。

新生児内科では、早産児や低出生体重児、呼吸障害、循環障害、栄養障害、仮死、小児外科疾患などさまざまな治療を要する赤ちゃんをお預かりしています。リスクの高い分娩にも新生児内科医が産科、麻酔科と連携して立ち会います。

また、当院は、新生児診療相互援助システム（NMCS）に加盟し、周産期医療の協力病院として24時間呼吸器管理を含めた集中治療を行っています。最新医療機器による高度な新生児医療を行っていますが、赤ちゃんの痛みを増やさないように必要最低限の治療を心がけています。



新生児集中治療室（NICU）

小児科 地域の中核病院として子どもたちの成長を見守ります。

小児科では、0歳児から15歳（中学3年生）までのお子さんのさまざまな疾患を広く診療しています。腎臓、神経、アレルギー、内分泌、循環器などの専門外来や発達相談、各種健診、予防接種にも対応しています。また泉州小児救急輪番制のもとに救急診療を行っています。



小児科外来待合

第4回「泉大津市オリアム随筆賞」

応募作品を募集します

衣服や繊維製品に
まつわる思い出など
をお寄せください！



選考委員
(50音順)



有栖川有栖氏



木津川 計氏



難波 利三氏



眉村 卓氏

今年も、関西を代表する文化人を選考委員に迎え、日本一の生産量を誇る毛布をはじめとする「繊維のまち・泉大津」の名を全国へアピールするため、衣服や繊維製品に関する内容を綴ったエッセイを募集します。入賞者には賞金が贈呈されるほか、3月に開催される表彰式と文学フォーラムにおいて、豪華な選考委員と共にご出席いただく予定です。なお、昨年度から特別賞として市民を対象とした「泉大津市長賞」を設け、市特産品を贈呈していますので、市民の皆さんも奮ってご応募ください。※「オリアム」とは、市の特産品である毛布・ニット・毛織物などを連想させる「織」と「編」に由来しています。

募集期間 6月1日(月)～9月30日(火)(午後5時15分必着)

募集作品 衣服や繊維製品にまつわる思い出や感動したことなどに触れた作品

応募資格 制限はありません(最優秀賞受賞者を除く)

応募点数 1人2作品まで

選考 最終選考は、次の選考委員により決定

選考委員 有栖川有栖氏、木津川計氏、難波利三氏、眉村卓氏(50音順)

賞・賞金

▷最優秀賞(オリアム随筆〈エッセイ〉賞)1作品(賞金50万円)

▷優秀賞2作品(賞金5万円)

▷佳作3作品(賞金3万円)

▷特別賞(泉大津市長賞)1作品(泉大津市特産品2万円相当)

注意事項 入賞者の氏名・住所(市区町村名まで)・年齢は市ホームページ・広報紙などに掲載予定です。なお、報道関係者にも記事提供しますので、氏名・住所・年齢のほか、顔写真の提供をお願いする場合があります。

応募方法 第4回「泉大津市オリアム随筆賞」応募要領に基づき、所定の「応募用紙」に必要事項を記入のうえ、次の場所に持参または郵送するか、メールで送付。応募用紙および応募要領は、市ホームページからもダウンロード可

申込先 ▷持参または郵送…〒595-0025 大阪府泉大津市旭町22番45号 テクスピア大阪1階 泉大津市総合政策部地域経済課 ▷メール…essay@city.izumiotsu.osaka.jp

問合せ 地域経済課(テキスピア大阪1階 ☎51・7651)



祝 平成27年 泉大津市成人式

27年度成人式の様子

来年の成人式をあなたの手で
プロデュースしてみませんか？

成人式企画委員を募集します！

平成28年泉大津市成人式の企画委員を募集します。「こんな成人式がしたい」「こんな成人式をしたかった」という想いを自分たちの企画・運営で実現させてみませんか。

募集期間 6月1日(月)～30日(火) **応募条件** 不問(年齢や住所などを問いません)

応募方法 生涯学習課に設置の応募用紙(市ホームページからもダウンロード可)で、郵送、ファクス、またはメールで応募(トップページ>右上部の各課のページ>教育委員会事務局>生涯学習課>イベント情報から応募用紙をダウンロード可) **締切** 6月30日(火)必着

宛先 ▷郵送…〒595-8686 (住所記載不要) 生涯学習課宛 ▷ファクス…33・0670 ▷メール…taiiku@city.izumiotsu.osaka.jp **問合せ** 生涯学習課(市役所3階)



総合計画ロゴマークを作りました！

このマークを使って本市の総合計画をPRします

まちの将来像「住めば誰もが輝くまち泉大津 ～なんでも近いで ええとこやで～」とする本市の最上位計画となる総合計画を3月に策定し、4月からこれに基づき各種事業を実施しています。

そこで、まちの将来像と総合計画を広く皆さんに知ってもらうため、ロゴマークを作成しました。今後さまざまな場面でロゴマークを活用し、まちの将来像と総合計画のPRを行い、市民や団体・事業者などの皆さんと共に、より良いまちづくりを進めていきたいと考えています。

問合せ 企画調整課(市役所4階)



ロゴマークのコンセプト

総合計画で位置付けるまちの将来像「住めば誰もが輝くまち泉大津 ～なんでも近いで ええとこやで～」を踏まえ、誰もが「キラリ」と輝く泉大津を、皆さんと共にめざしたいという想いを込めたものです。

※今月の広報紙から事業ごとにロゴマークとめざす姿を掲載しています。

公共施設のあり方にご意見を！

適正配置基本計画検討委員会 市民委員を募集します

【応募要領】

募集期間 6月1日(月)～19日(金)(必着)

募集人数 2人

委嘱期間 7月上旬～平成29年3月末(約2年間)

活動内容 委嘱期間中、8回程度の会議に出席。会議は原則、昼間に開催(一時保育有)。

謝礼 1回9,000円

応募条件 18才以上の市内在住・在勤・在学者

応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、作文(「泉大津市公共施設適正配置基本方針を読んで感じたこと」および「あなたの考える公共施設のあり方とは」をテーマに800字程度)を添えて、総務課へ持参、または郵送してください。応募用紙などは、総務課で配布するほか、市ホームページからダウンロードできます。

申込・問合せ 総務課(市役所4階)

大学連携事業報告書

を希望者へ配布します



報告書の表紙

教育委員会では、大学のもつ知見を教育行政に活用するため、平成26年度から大阪体育大学、プール学院大学、桃山学院大学の3大学と連携事業を推進しています。このたび、その成果を報告書としてまとめました。内容は、本年3月に開催した生涯学習フォーラムをはじめ、企画展、研究会、教育長対談などです。

本報告書を生涯学習課窓口で無料配布します。一人1冊までとし、なくなりしだい配布を終了します。

問合せ 生涯学習課(市役所3階)



(お出しください)

差出有効期間
平成27年6月
1日から平成
27年6月30日
まで

81

料金受取人私
泉大津局
承認

5958790

泉大津市役所 秘書広報課

泉大津市東郷町9-12

(2)ご来取

よりよい泉大津市をつくるため、皆様のご意見をお寄せください！

市長への提言

市民の皆さんから市政についての幅広いご意見をいただく「市長への提言」を実施します。皆さんから寄せられたご意見・アイデアなどは、市長が直接拝見し、今後の市の施策の参考とさせていただきます。ただし個人的な相談・苦情などはご遠慮ください。なお、ご意見などに対して回答が必要なもので、発信者の連絡先が明記されているものは、担当課より回答させていただきます。また、いただいたご意見などの中からいくつかを後日広報紙でご紹介します。

問合 秘書広報課（市役所4階）

(切り取り線)

(1)ご来取

送付方法

①裏面に住所・氏名・年齢・電話番号、あなたのご意見をご記入ください。

②このページを切り取ってください。

③郵送またはファクスで秘書広報課へ送付ください。

▷郵送…この面の「山折り線」にしたがい、「山折り①」→「山折り②」の順に折ります。裏面の「のりしろ」にのりを貼っていただき、封筒を作り、切手を貼らずにそのままポストへご投函ください。

▷ファクス…裏面（アンケート面）のみを、秘書広報課（21・0412）へ送信してください。

※メールでも受け付けます…郵送・ファクスのほか、メールでもご意見を募集します。その際はメールのタイトルを「市長への提言」としてください。

メールアドレス=hisyokouhou@city.izumiotsu.osaka.jp

締切= 6月12日(金) (当日消印有効)

よりよい泉大津市をつくるために、皆様のご意見をお聞かせください！



移動支援サービス（ガイドヘルプ）

を拡充しました！

障がい者（児）の外出支援

単独では外出が困難な障がい者（児）を対象とした移動支援サービス（外出時に必要となる移動の介助および外出に伴って必要となる身の回りの介護を行うサービス）について、利用機会を拡充しました。

移動支援サービスの対象要件・利用方法など詳しくはお問い合わせください。

問合 障がい福祉課（市役所1階10番窓口）

新しく利用できるようになったサービス

▷施設入所者が一時帰宅する際の入所施設から自宅までの往路・復路における移動支援サービスの利用

▷旅行時における自宅から宿泊施設までの往路・帰路および宿泊施設内での移動支援サービスの利用

対象者

療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳1級または2級をお持ちの人で、常時援助の必要な人および身体障がい者手帳1級をお持ちの全身性障がい者（児）

利用者負担

生活保護世帯	低所得世帯 (市民税非課税)	課税世帯
無料	無料	費用の1割 (負担上限月額 4,000円)

※利用に伴って必要となる交通費や入場料など（ガイドヘルパー分を含む）については、利用者本人の負担となります。

⑩文化薫るまち、いずみおおつ。「泉大津市文化フォーラム」

村上水軍と泉州侍の死闘 史実を踏まえ時代小説に新風

100万部の大ヒットで一躍注目された歴史小説『村上海賊の娘』の著者が、史実を踏まえた自作について語ります。泉大津を拠点に活躍した真鍋氏をはじめ泉州の武将がひんぱんに登場し、生きのいい泉州弁が彩りを添えます。入場無料。南海電鉄後援。問合 秘書広報課（市役所4階）



村上家の家紋の入った真つ赤な陣羽織（写真は市村上水軍博物館蔵）



●6月7日(日)「村上海賊の娘」と泉州の海賊衆 和田竜氏（作家）
▽午後2時～3時30分（1時間開場）▽テクスピア大阪テクスピアホール
1969年大阪生まれ、広島育ち。小さいころ、因島（いんのしま）への家族旅行で「悪そうで強そうで、自由な雰囲気をもつ」海賊・村上水軍を知り、いつか村上水軍のことを書くかと思っていたといいます。早稲田大学政治経済学部卒。



小説に登場する主人公の弟・村上景親の肖像

テレビ番組の制作会社を経て、繊維業界紙の記者を勤める傍ら、2003年『忍ぶの城』で優れた映画脚本に贈られる「城戸賞」を受賞。これを小説化した『のぼうの城』は大ヒットし、直木賞候補作になり、映画公開されました。他の著書に『忍びの国』、『小太郎の左腕』など。

『村上海賊の娘（上下）』は戦国時代、織田信長に兵糧攻めにされた大坂本願寺が毛利家に助けを求めたことのできた「木津川口合戦」を描いた長編小説。迫力ある戦闘シーンの中にさま

ざまな人間ドラマが描かれ、生き生きとした泉州弁が往時の泉州侍の息吹を伝えます。小説には、泉州の海を制海する淡輪の真鍋水軍が織田方水軍の中心として描かれ、泉大津の真鍋城（南濱寺周辺）も登場します。

数多くの資料収集に1年、シナリオ作品に仕上げるのに1年、さらに小説化し連載するのに2年をかけたそうです。全国の書店員が選ぶ「2014年本屋大賞」に加え、吉川英治文学新人賞、親鸞賞も受賞しました。

和田さんは、今回の講演について「村上海賊が主力になった毛利水軍が織田水軍を破ったのは、従来『織田方の水軍が海戦に不慣れだったから』との漠然とした解釈がなされてきた。しかし、織田方の水軍にもプロが存在し、それが泉州の海賊、真鍋家だった」と話しています。

和田氏の写真は新潮社提供

連載 本市は国際認証制度であるセーフコミュニティ認証の取得を目指しています。

セーフコミュニティいずみおおつ

みんなでつくる
安全・安心なまち

第
11
回

第6回 分野別対策委員会を 開催しました



**初の単独形式で
対策委員会を開催**

4月17日から21日にかけて第6回分野別対策委員会を開催しました。

初の単独形式で6つの対策委員会が行われ、日本セーフコミュニティ推進機構の白石陽子代表理事、今井久人専務理事に指導をいただきました。

今回は、前回考えた対策委員会としての重点課題を確認し、課題の解決のために「誰に、何をしなければならぬのか」を検討しました。

犯罪防止対策委員会では、犯罪に対する意識をどう高めていくかといった意見が出たり、他の委員会では、対象を検討するにあたっては、さらに詳しいデータが必要であるとの意見が出されるなど、委員の皆さんは、これまでのワークショップでの成果や、各団体、職場での経験を語り合いながら、議論を進めました。



ラッピングカーの後部にセーフコミュニティのマークをあしらっています

ラッピングカーでSCをPR!

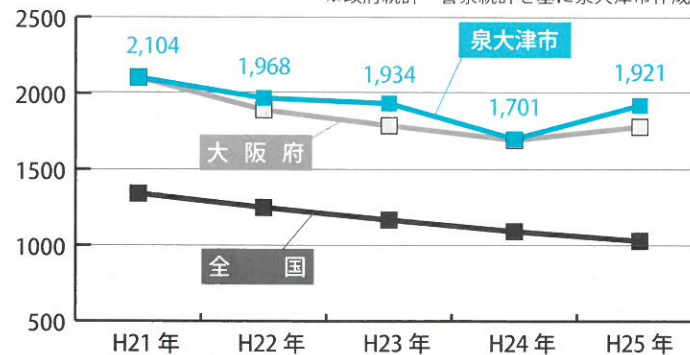
市では、おびんまのイラストや「日本一の毛布のまち」をデザインし、本市をPRするラッピングカーを制作しました。同時に、セーフコミュニティの取り組みをより多くの皆さんに知っていただくため、ラッピングカーにセーフコミュニティのデザインも盛り込みました。



第6回対策委員会の様子

人口10万人あたりの刑法犯認知件数

※政府統計・警察統計を基に泉大津市作成



具体的な課題設定の段階にきました

対策委員会も全体でのワークショップがひと段落し、各対策委員会で具体的な課題の設定や取り組みに関する検討が始まりました。ワークショップで出てきた課題について、既存の取り組みを活用しつつ効率的・効果的に進められる取り組みを考えています。委員のみなさんは日ごろから安全向上に熱心に取り組んでおられる方たちということもあって、話合いも活発で、今後、どのような取り組みが始まるのかが楽しみです。

JISC 代表理事
白石陽子氏のコメント



市長への提言 (回答が必要な場合は連絡先を明記してください)

住 所	〒595-□□□□ 泉大津市	年 齢	歳
氏 名			

について

のりしろ

のりしろ

のりしろ

FAX : 0725-21-0412 (泉大津市 秘書広報課 宛)

FAX の場合はこの面を送信してください。